

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇出前授業や校外楽手の充実による本物の体験を通して学びが深まった。</p> <p>◇既習や生活経験を生かした教材化を通して、子どもが見通しや目的をもって、主体的に学習に取り組む態度の育ちにつながった。</p> <p>◇学びの質を高める教材化や子どもが楽しく深くつながる授業を目指して校内研修を積み重ね、職員全体のスキルアップにつながった。</p> <p>◇ねらいをはっきりさせることで、個別最適な学習、協働的な学習が効果的に行われた。</p>
	<p>◆バス代や全般的な教材費の高騰により、校外学習や出前授業の選択の幅が狭まっている。もっと本物を体験できる場を増やしたい。</p> <p>◆子供の実態に合った個別最適な学習の在り方について研修を積み重ねていく。ICTの効果的活用（デジタル）と、今まで培ってきた指導方法（アナログ）のメリット・デメリットを精査しながらハイブリッドな指導方法を模索していく。</p> <p>◆児童実態の細やかな見取り、自己選択・決定の場を生み出す教材化。</p> <p>◆学習の振り返りの充実。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	<p>◇ICTなど、他の人の考えと自分の考えを比較しやすい環境を整えることで、交流のハードルが下がり、全員が学びの土台に乗りやすくなった。</p> <p>◇自己選択、決定したことをつたえる場を設けることで、互いのよさに気付く機会を得ることができた。</p> <p>◆学年や個の児童の実態に合わせた学びの土台作り、対話から相互理解を生み出す教師の関わりと指示的風土などの基盤づくり。</p> <p>◆協同的な取組と自己選択したことへの振り返りからその先につなげていくこと。</p>

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

進んで学び主体的に解決すること

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(1) 校外学習・出前授業を通して効果的な実践を積み上げる。また、事前学習や事後の振り返りを大切に、授業への理解度を高める。</p> <p>(2) 研究の重点の一つ「子ども自ら選択し、決定する場を大切に授業」に基づき、教職員間で授業公開を行い、授業に対しての振り返りを充実させる。</p> <p>(3) 協同的な学習、個別最適な学習のための児童の振り返りの場を充実させる。</p>	<p>①自治的な取組が広まる委員会活動 →児童の意見を基にした、よりよい学校づくりの充実を図る。 →児童委員会によって企画・運営される異学年間の交流を広げていく。</p> <p>②各学年のカリキュラムの見直し →教科横断的に見通しをもった活動の計画をたてる。 →子どもの声に耳を傾けながら、学年ごとに、実態に応じた学習と生活全般に関わって、自治的活動の計画推進。</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
	◇(2)や①において、Googlefoamやクラスルーム等を活用し、一人一人の意見が反映されるようにする。	

<本プログラムの実行に向けて>



